



HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成28年11月29日

受付日：平成28年10月28日
受付番号：HP16-KT179

性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股 孝志

1. 火打ち材名称	オメガ火打600ボルトタイプ
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該火打ち材を設けた水平構面隅角部のモーメント変形角関係を明らかにし、その完全弾塑性モデルによる構造特性値及び短期基準モーメントを算定する。
4. 試験内容	火打ち材接合部の面内せん断試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」 [※] による。 ※(公財)日本住宅・木材技術センター発行(平成18年11月版)
5. 試験体仕様	<p>1) 火打ち材</p> <p>「オメガ火打600ボルトタイプ」 材質：SS490(JIS G 3131)^{*1} 外形寸法：最大幅71mm×高さ33mm×有効長さ880.4mm 踏張り長さ600mm 接合具取付孔 8-3.6mm×7mm, 2-φ13.5mm 板厚：1.6mm 表面処理：なし</p> <p>2) 接合具</p> <p>「小型角座金W2.3×30^{*2}」1個×2箇所 材質：以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.15%以下 Mn;0.80%以下 P;0.05%以下 S;0.05%以下 寸法：30mm×30mm 厚さ2.3mm 表面処理：Z27</p> <p>「平くぎZF55^{*2}」4本×2箇所</p> <p>4) 軸組材料</p> <p>加力側横架材：ベイマツ無等級材 105mm×150mm 含水率：13.5～14.5% 全乾密度：0.47～0.55g/cm³</p> <p>固定側横架材：ベイマツ無等級材 105mm×150mm 含水率：13.5～14.5% 全乾密度：0.69～0.80g/cm³</p> <p>横架材相互の：大入れ蟻掛け(機械プレカット加工)の上、羽子板ボルトSB-E2 310^{*2}、 接合方法 M12ボルト・ナット^{*2}及び角座金W4.5×40^{*2}を用いて緊結</p> <p>^{*1} 引張強さ490N/mm²以上を満たす炭素鋼 ^{*2} Zマーク規格品</p>
6. 試験条件等	<p>・試験体の固定は支持梁で行い、支持梁材芯と加力梁材芯の交点から150mmの位置及び978.75mmの位置とした。</p> <p>・固定方法はM16ボルト(孔径φ18mm)及び100mm×100mm,厚さ15mmの鋼帯を用いて鋼製ブロック(設置面寸法100mm×150mm)を介し、試験装置に支持梁を強固に固定した。</p> <p>・加力点位置は支持梁材芯と加力梁材芯の交点から加力梁上側978.75mmの位置とした。</p>
7. 試験結果	<p><圧縮加力試験結果> 短期基準モーメント M_{0c} 8.27 [kN・m]</p> <p><引張加力試験結果> 短期基準モーメント M_{0t} 7.48 [kN・m]</p> <p>(詳細については性能試験報告書に示す)</p>
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター 〒230-0004 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成28年11月10日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 宇山 善博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。